

研究課題 (テーマ)		外来看護師が行う在宅サービス支援を促進するためのシステム構築	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	看護学科	助教	枝川 奈都美
分担者	看護学科	准教授	河野 由美子
	看護学科	講師	山崎 智可
	看護学科	助教	北林 正子
研究結果の概要			
<p><研究目的></p> <p>外来看護師が通院患者に在宅サービスの調整を行うためには、どのような介入や業務調整が行われているかを明らかにする。</p> <p><方法></p> <p>医学中央雑誌 Web と Cochran Library による文献検索を行った。</p> <p>外来看護師の支援対象は、入院患者を除外し、在宅療養中の患者及び家族とした。</p> <p><結果></p> <p>検索結果より、以下の点が明らかになった。</p> <p>① Cochran Library</p> <p>「Out-nurse」のキーワードで検索を行ったところ、275 件が検索され、タイトルとアブストラクトを読み整理したところ 20 件が研究テーマに関連していた。しかし、在宅サービスを調整することを取り上げたシステムティックレビューは行われておらずランダム化比較試験はメタ統合の段階ではないことが分かった。</p> <p>② 医学中央雑誌 Web</p> <p>検索式を、「外来」and「地域包括ケア or サービス or 保健医療サービス」and「在宅支援 or 在宅療養 or 在宅サービス or 在宅介護支援サービス」として、文献検索を行った。</p> <p>4469 件が抽出され、「5年以内の文献」かつ「原著論文に限る」にて絞り込みをかけたところ 342 件であった。研究テーマと異なる文献をタイトルとアブストラクトを読み整理したところ、206 件の文献が研究テーマと関連が見られた。抽出された 206 件中、症例研究は 63 件であった。論文は介入方法が類似したものが見られ、対象・疾患で細分化してさらに分析を進めることが必要だと考えられた。</p> <p>そのため、今後は、疾患・対象ごとに外来で必要なサービス調整を検討し、外来における介入モデルを作成する予定である。</p>			
今後の展開			
<p>本研究の成果は、スコーピングレビューとして国内の学会に学会発表又は論文投稿で発表する予定である。また今後、文献検索範囲を再検討し、PubMed と CiNii 等の海外文献からのデータ収集及び分析を継続していく予定である。</p>			